

「青年の労働と健康実態調査」

－実施マニュアル－

2008年9月
非正規雇用労働者全国センター 事務局長 井筒百子

問い合わせ先

〒113-8462 東京都文京区湯島2-4-4 全労連会館4F
全労連気付 非正規雇用労働者全国センター
電話 03-5842-5611 FAX 03-5842-5620
事務局 阿部・高島

調査の目的と意義

非正規労働者の増大は「格差と貧困」の深刻化の原因となっています。特に青年層の非正規雇用問題はこの国の将来に暗い影を落とし、安全・安心な社会の維持、継続を危ぶませています。それは青年労働者の健康面にも深刻な問題を引き起こしつつあります。労働災害の多くの犠牲者が非正規雇用労働者であり、正規労働者も人間性を踏みじられ、使い捨て同然に扱われ心を病む労働者が増大しています。非正規労働者の多くは職場での労働安全衛生施策はもちろんのこと、年金や社会保険といった公的社会保障からも疎外されている場合が多いのが実情です。

格差と貧困の深まりのもとでは非正規雇用労働者と正規雇用労働者とは健康状態に差が生じるという研究は欧米では進められていますが、日本ではまだ未開の分野となっています。

2008年7月の全労連第23回定期大会で正式発足した「非正規雇用労働者全国センター」は青年が人間らしく働き、生活できる政策提言を行うための基礎資料となるよう青年の働き方と健康の実態を明らかにする実態調査を「いのちと健康全国センター」「労働総研」の協力を得て取り組むこととしました。皆さん方のご協力をよろしくお願いいたします。

調査の対象者と取り組み方について

1. 調査対象：35歳未満の青年
2. 回収目標：1万

各組合や地方組織にお願いしたい回収数は別送一覧表のとおりです。個別にご相談いただき、目標を設定していただいたところには、必要部数をお送りいたします。

3. 回収比率目標：組合員、組合未加入をほぼ半々
正規・非正規労働者をほぼ半分

組合員が職場の組合未加入の青年に声をかけて、協力を依頼するようお願いいたします。また、組合員のまわりの青年労働者、家族、友人、知人など身近な青年たちにもぜひ、調査への協力をお願いしてください。

4. ローカルユニオン加入者の青年はすべて対象に

地方組織はローカルユニオン加入者の青年はすべて対象として、取り組みをお願いいたします。

※非正規センターCWAC-net (<http://www.cwac.jp>) から直接アンケートに記入したり、調査用紙をダウンロードし、FAXで回答いただくことができます。

回収について

1. 締切：11月15日
2. 回収方法1：「取り扱い団体」ごとに集約
3. 回収方法2：送料着払いの返信用封筒の活用

団体ごとにまとめて非正規雇用労働者全国センターに送付ください。調査用紙の末尾に「取り扱い団体」のご記入をお願いいたします。

回収方法2はプライバシー保護や団体ごとの回収が不可能な場合のみにして下さい。

※相当数が回収方法2の場合莫大な経費がかかりますので、できるだけ取り扱い団体ごとにまとめてお送りいただくようお願いいたします。

分析・検討について

1. 第1次調査結果の発表：12月中旬ごろ
2. 最終報告：2009年の3月ごろ（完成予定）

調査プロジェクトメンバー

福地保馬(北海道大学名誉教授)・田村昭彦(九州社会医学研究所所長)・阿部真雄(健真会夏目坂診療所産業健康支援センター)・川村雅則(北海学園大学講師)・中村賢治(大阪社会医学研究所)・鈴木蔵人(いのちと健康全国センター理事・生協労連)・岡野孝信(いのちと健康全国センター理事・日本医労連)・今中正夫(いのちと健康全国センター事務局長)・熊谷金道(労働総研代表理事)・井筒百子(全労連常任幹事・非正規センター事務局長)・伊藤圭一(全労連常任幹事)・野村昌弘(全労連常任幹事・青年部長)